

編集後記

この記事を読まれる頃には、アテネ・オリンピックのあの興奮は遠い過去のこととなっているかもしれませんので、ここに記したいと思います。開催されるまで、「今さらオリンピックで国威発揚はないでしょう。応援するのは、女子マラソンとサッカー。」と考えていたのですが、柔道、体操、水泳、レスリングでの日本人選手の活躍、それも金メダルのラッシュ。特に水泳自由形で柴田選手の金メダルには驚きましたし、体操日本の復活も嬉しい限りです。でも、なんと言ってもマラソンの野口みずき選手の金メダル。思いもしない26km付近でのスパート、そしてヌデレバがひたひたと追いついてくるのには興奮しました。競技場に入った時、子どもの時見た「悪夢」が脳裏をかすめます。東京オリンピックで円谷選手が2位で競技場に入ったけれど、最後に英国のヒートリー選手に抜かれての銅メダル、これがよみがえります。「野口、ガッツポーズをしている場合か。後ろを見ろ！」と叫んだのは私だけじゃないと思います。あの過酷なレースの中で、日本人女性の強さが改めて実証されました。あるタレントが言っていました。女の子には「女らしくしろ、可愛くあれ」と以前良くいった

のは、女性は精神的にも体力的にも男性より強いいため、このハンディをつけないと勝負にならないと、オリンピックでの日本人女性の活躍を見れば、まさしく実感です。

体操、水泳での選手の活躍を見て、子ども達がクラブに殺到していると聞きます。アテネでの水泳選手の中に、子どもの頃岩崎恭子選手の金メダルを見て水泳を始めた選手も多いそうです。意外と子どものころの憧れがその後の人生を決めることであるようです。最近高校生の物理離れが著しいと聞きます。物理学会誌でもよく論じています。2年前になります。小柴昌俊先生、田中耕一氏がノーベル賞を受賞しました。また、青色ダイオードの発明で有名な中村修二氏に対して、200億円という巨額な報酬が裁判所で認められました。中村氏はいくつか本を出していますし、田中氏はあのユニークなキャラクターがマスコミの人気を呼びました。現代の子ども達が先の技術者を夢見て、20年後に大きな活躍をする研究者として現れることが期待できます。さらに、北島康介選手のタフな精神、体格を走法の工夫で乗り越えようとする末続慎吾選手、そこに新しい日本人の可能性が見えます。私にとって、東京に次いで印象に残るオリンピックとなりました。(清水勝宏)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦 藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	榎戸 武揚 (広報委員長)	岡野 邦彦	尾崎 章 (財務委員長)		
	際本 泰士	佐藤浩之助	田中 和夫 (プログラム委員長)		
	田辺 哲朗	長 照二 (出版委員長)	永見 正幸		
	二宮 博正	畠山 力三	堀岡 一彦 (広告委員長)		
	松岡 啓介 (企画委員長)	吉田 善章 (編集委員長)			
監 事	長谷川 満	藤山 寛			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原研), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)

編集委員 相澤正満 (日大量科研), 安藤利得 (金沢大院理), 井深真治 (東工大院理工), 岩前 敦 (京大院工), 江角直道 (長野高専), 遠藤琢磨 (広大院工), 粕谷俊郎 (同志社大工), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榎田 創 (産総研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 清水勝宏 (原研那珂), 下妻 隆 (核融合研), 鈴木 哲 (原研那珂), 鈴木千尋 (核融合研), 高杉恵一 (日大量子研), 力石浩孝 (核融合研), 波多江仰紀 (原研那珂), 服部邦彦 (東北大院工), 林康明 (京都工繊大), 檜垣浩之 (筑波大プラズマ), 松本和憲 (富山県大工), 南 貴司 (核融合研), 村上定義 (京大院工), 森下和功 (京大エネ理工研), 山本 靖 (京大エネ理工研), 湯上 登 (宇都宮大院工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第80巻第9号

編集・発行

☎464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: http://www.jspf.or.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2004年(平成16年)9月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。